



茎数確保を徹底！

有効茎数を確保したほ場から、遅れず作溝・中干しを行いましょ！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月18日現在の県全域での生育は、指標値に比べ草丈は短く、茎数はやや少なく、葉数は平年並み、葉色はやや濃くなっています。茎数が不足しているほ場が多くなっていますが、既に有効茎数を確保したほ場もみられます。

生育に合わせたきめ細かな管理で、必要な茎数（560～580本/m²）確保に努め、有効茎数を確保したほ場から、遅れずに中干しを行いましょ。また、中干しの効果を高めるため作溝をしっかり行いましょ！

内陸平坦部「雪若丸」の生育（6月18日）

項目	調査値	指標値	指標比・差
草丈	29.8 cm	31.5 cm	95 短い
茎数	420 本/m ²	446 本/m ²	94 少ない
葉数	8.0 枚	8.0 枚	0 並み
葉色 (SPAD)	44.5	42.7	1.8 やや濃い

庄内平坦部「雪若丸」の生育（6月18日）

項目	調査値	指標値	指標比・差
草丈	30.1 cm	33.2 cm	91 短い
茎数	483 本/m ²	496 本/m ²	97 やや少ない
葉数	8.2 枚	8.3 枚	-0.1 並み
葉色 (SPAD)	45.5	43.7	1.8 やや濃い

(1) 6月20日の生育診断

茎数が不足しているほ場は、引き続き浅水管理で分げつを促進し、6月中に有効茎数を確保しましょ。土壤の異常還元等の影響で茎数が不足し、6月20日の茎数が300本/m²以下、葉色40以下の場合は、夜間落水や田干し等で根圏環境の改善を図ったうえで、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し、分げつを促進しましょ。生育量を確認し、有効茎数を確保した圃場から遅れずに作溝・中干しを行い、無効分げつを抑制しましょ。作溝もしっかり行いましょ。

(2) 穂肥前の生育制御

幼穂形成期（出穂25日前）まで葉色を40未満に低下させないことが管理のポイントです。しっかり作溝・中干しを行って、根圏の状態を良好に保ちながら、6月30日の生育診断で穂肥をしっかり行える生育となるように、茎数や葉色をコントロールしましょ。

6月30日の適正生育量

茎数	葉色 (SPAD)
560～750本/m ²	40～44

葉もちが本田で確認されています。ほ場の観察を行い、早期発見に努め、発生初期に防除しましょ！
斑点米カメムシ類やや多い！畦畔の草刈りを徹底しましょ！